

栃木県内の「道の駅」の現状についての一考察

足利工業大学 学生員 北村博昭 足利工業大学 正会員 為国孝敏 足利工業大学 正会員 中川三朗

1.はじめに

近年、長距離ドライブ、女性や高齢者のドライバーが増加する中で、交通の快適な走行を支えるため、一般道路にも安心して利用できる休憩施設が望まれている。こうした中で平成5年に「道の駅」登録・案内制度が施行され、現在では全国に551箇所の「道の駅」が登録されている（平成11年8月現在）（図—1）。これら「道の駅」は、地域連携が促進される等の効果も期待されている。しかし、「道の駅」に対する利用者の認知度は低く、利用メリットが認識されていないと思われる。そこで本研究では「道の駅」の現状を把握するため、栃木県内の2つの「道の駅」利用者を対象にアンケートを実施し、分析を行うこととする。

2.「道の駅」の概要

農水省や自治省が推進する地域振興支援事業として市町村等が計画する地域振興施設がある。そのうち国道や主要地方道などの交通量の多い道路に面した施設でトイレ・休憩施設等が整備された地域振興施設に対し建設省が、平成4年度（平成5年2月23日）から「道の駅」を登録認可する制度を設けた。「道の駅」は、「休憩機能」、「情報交流機能」、「地域連携機能」の三つを基本機能として、「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」を提供しようとする共通コンセプトで整備されている。現在までに登録されている「道の駅」の中には温泉施設、キャンプ場施設、その土地にゆかりのある建築物などがあるものもあり、地域の物産・産業を活かしての農産物の販売や体験工房を設置しているところも見られる。

3.アンケート調査の概要

栃木県内2カ所の道の駅「もてぎ」、「湯の香しおばら」の利用者を対象にアンケート調査を実施した。調査では、「道の駅」利用者の現状を把握するため、「道の駅」において取得できる「情報」を中心にアンケート項目を作成し、個人属性、「道の駅」の利用状況などを調査した（表—1）。

4.アンケート調査結果の分析

「道の駅」は、車利用者がほとんどであるため10代が全体の3%と最も低く、20代では35%と今回の調査では全ての年代を通して最も多かった。30代以降では15%前後の利用者が見受けられるなど、20代を中心に広い世代に利用されている。（図—2）また県外からの利用者も多く、二つの道の駅とも利用者の5割を数えた。「湯の香しおばら」においては、関東各都県の利用者が平均的に見られた（表—2）。これは那須塩原の温泉郷と東北自動車道西那須野塩原ICの中間地点に存在することから、「湯の香しおばら」が観光地の玄関口として利用されていることが伺える。次に「道の駅」利用者の利用目的において年代別、利用回数別二つの結果とも「休憩」、「トイレ」、「食事」の順に多く利用されている。しかし、10代においては高校生の利用や調査対象が少ないことから「食事」が1番となっている（図—3、7）。また、「道の駅」で提供される情報の利用については観光、物産情報が多く利用されていることが分かる（図—3、8）。さらに「道の駅」で提供して欲しい情報においては、観光、物産情報とともに道路情報が高い割合を示している（図—5、9）。そして、「道の駅」での提供情報の満足度では、年代別、利用回数別ともに35%前後の利用者が満足しているという結果であった。しかし、普通と答えた利用者が6割を越えるなど、「道の駅」の存在を十分にアピールしているとは言えない（図—6、10）。

また、年代別と利用回数別それぞれの利用目的、活用した情報、提供して欲しい情報、満足度すべてで同じ傾向が見られる。このことは「道の駅」に対しての利用者側の考えがほぼ一致しているのではないかと考えられる。さらに「道の駅」といいつつも、利用目的で「道を調べるため」が低く観光、物産情報を目的に利用されていることから、利用者は「道の駅」を観光、物産の拠点と捉え、利用しているのではないかと考えられる。今回の調査では認知度など「道の駅」に対しての外見的な部分の調査を行わなかったため、「道の駅」がどのような役割を果たしているのか、また今後どのような役割を果たして行くべきなのかといった分析、検討を行うことができなかった。

5.まとめ

以上ような分析を行ってきたが、全国には様々な形態で「道の駅」が散在しているためこの結果が一概に当てはまるとは言えない。そこで今後の課題として「道の駅」の基本機能の一つである「地域連携」にも注目し、様々な観点から調査を行い、分析することで「道の駅」の存在が明確になり、利便性の向上にもつながるものと考えられる。

表-1 アンケート配票数および有効回答

調査場所	調査日時	配布票数	有効回答	有効回答率
「道の駅」もてぎ	H11.11.6 (土) 9:00~16:00	202人	189人	93.6%
「道の駅」湯の香しおばら	H11.11.7 (日) 9:00~16:00	226人	202人	89.4%
合計		428人	391人	91.4%

表-2 「道の駅」における県外利用者

道の駅「もてぎ」における県外利用者数								
茨城県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	福島県	静岡県	群馬県	宮城県
70	12	10	4	3	3	2	1	1
道の駅「湯の香しおばら」における県外利用者数								
茨城県	東京都	埼玉県	千葉県	長野県	福島県	山形県	神奈川県	新潟県
31	25	21	19	5	4	4	3	1

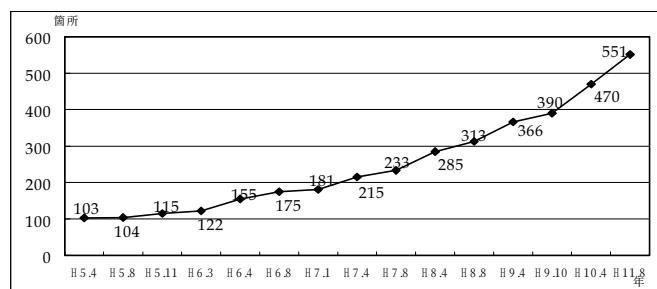


図-1 「道の駅」登録状況

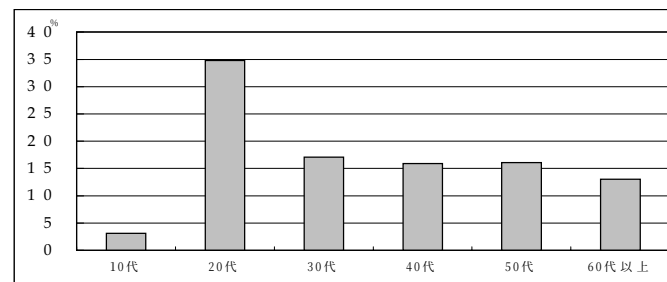


図-2 「道の駅」利用者年代構成

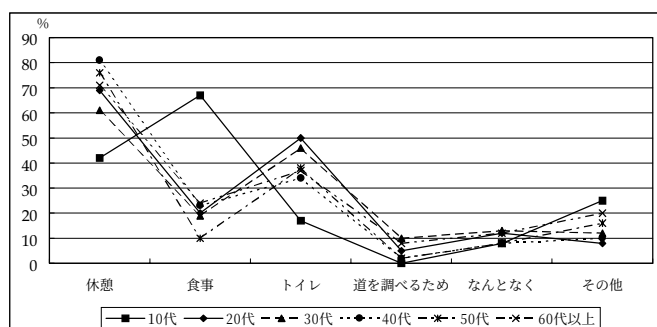


図-3 年代別「道の駅」利用目的

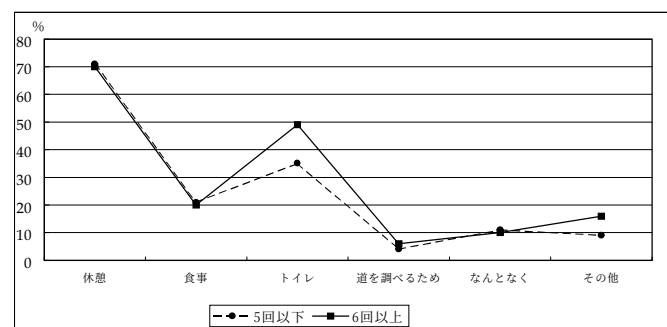


図-7 利用者回数別「道の駅」利用目的

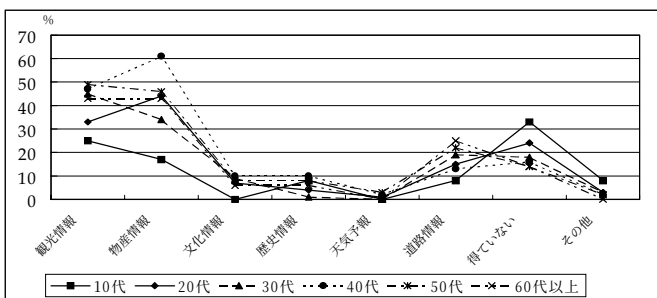


図-4 年代別「道の駅」での利用・活用情報

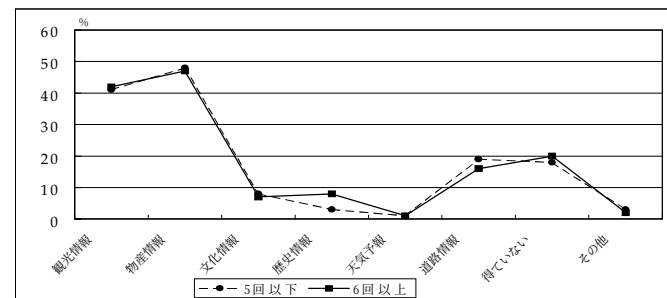


図-8 利用者回数別「道の駅」での利用・活用情報

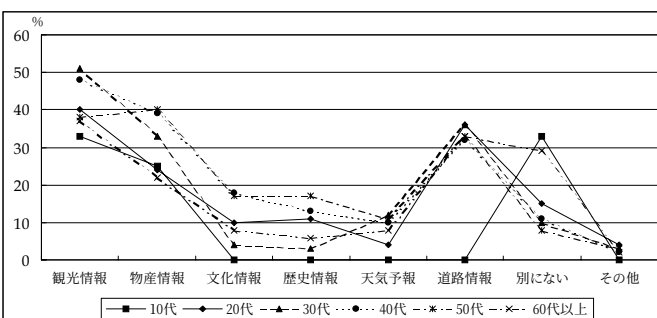


図-5 年代別「道の駅」で提供して欲しい情報

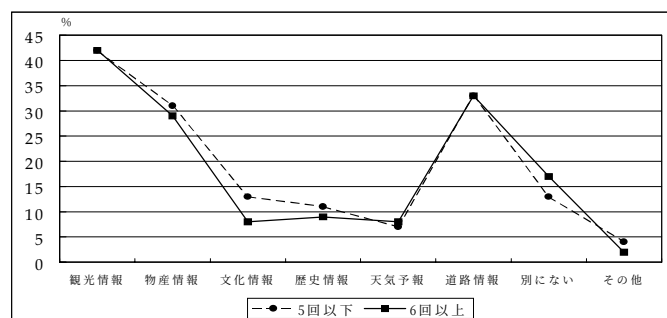


図-9 利用者回数別「道の駅」で提供して欲しい情報

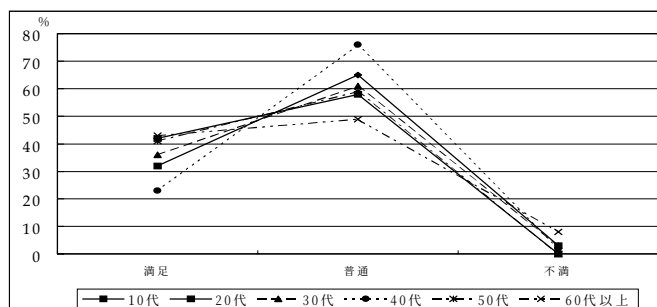


図-6 年代別「道の駅」提供情報満足度

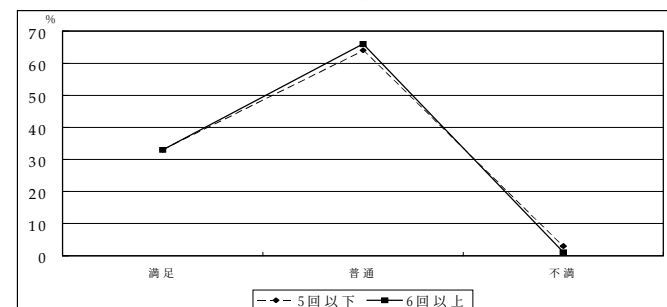


図-10 利用者回数別「道の駅」提供情報満足度